



7月28日(水) 創造の日

午前中、講師の藤浩志さんから指導を仰ぎ、キャンプを振り返りながらキーワードの「アート」と「環境」のイメージを膨らませるトレーニングを行いました。キャンプ場の芝生のキャンパスに、砂を入れた白い紙袋の中にキャンドルを入れた「ランタン」を並べ、それぞれの班のテーマを絵で表現しました。「七色の虹」「パンプキン」「足跡」「クローバーを運ぶ鳩」「フレンドリー（子供の手をつなぐ）」など、思いを込めた力作ができあがりました。



7月29日(木) 地球と友情の日

17：30開始の地球まつりに向け、班での発表、屋台村の会場設営、各都市ごとの食事づくりなどしながら、準備は進められました。そして、地球まつりは、直島のつつじ太鼓（地元小学生・高校生）の演奏で元気よくスタートしました。各都市の屋台村で食事をし、日没後、キャンドルに一齐に点火すると、薄暗闇の海をバックにやわらかい灯りのアートが誕生し、幻想的で荘厳なムードを醸しました。各都市の歌・踊りを発表し合い、和やかな交流会となりました。最後にサマーキャンプ6日間の活動記録のスライドを、野外スクリーンに映し出し、共通の思い出を確認し、深い感動を胸に地球まつりは終了となりました。



7月30日(金) 別れと出発の日

班のリーダーが中心となり別れの集いをしました。5泊6日のキャンプ生活で、ことばの違いを乗り越え、国境を越えて友情を育み、しっかりと心が一つになった友達同士。goodbyeではなくsee you again！涙ながらに握手や肩を寄せて感動の別れをしました。参加者全員が、無限の可能性を込めた大きな宝物を持ち帰ることができたことと思います。



9月1日(水)～9月6日(月) 子ども国際サマーキャンプ2004報告展

子ども国際サマーキャンプを振り返る報告展が、天満屋地下タウンの「アートスペース」で行われました。キャンプ中の写真や、報告新聞、各班の旗、寄せ書きの入ったTシャツ、参加者の作文等を展示しました。



第10回岡山市子供海外派遣事業

今回で10回目となる岡山市子供海外派遣事業は、韓国・富川市、台湾・新竹市の2都市に岡山市内の中学2・3年生を派遣しました。4回行われた事前研修会にて、ホームステイのマナーや簡単な会話の指導を受けた生徒達は、派遣先で一般家庭にホームステイし、現地の学校や市内視察をするなど学習と交流を深め、国際的視野を広げるとともに、異文化に触れる貴重な機会となりました。

派遣先：新竹市（台湾）
派遣人数：23名
派遣期間：8月2日～8月13日

派遣先：富川市（韓国）
派遣人数：25名
派遣期間：8月2日～8月13日



◀小籠包作り体験



富川市役所での交流会▶



◀東門城にて記念撮影



韓国料理教室▶



◀ホストファミリーとの別れ



漫画博物館にて記念撮影▶



◀香山中学校との親善試合



利川焼物体験▶

友好交流サロン

国際交流ふれあい講演会

16年度の「国際交流ふれあい講演会」は、4月、12月を除いて10回開催しました。来場者の皆様からの要望に応じて、東アジアの国を中心とし、さらにほかの地域のバランスを考えた上で講師を選定し、毎回パワーポイントなどの器材を使い、その国の民族衣装など具体的なものを見せながら、国の紹介や自分自身の体験談などについてお話いただきました。各国の講師の楽しい講演会を通じて、岡山市民と外国人市民との相互理解が深まることを願っています。



5月 ゴンザレス・アントニオさん
「テキーラとメキシコ人気質」



6月 ハンクー・オレリエンさん
「万華鏡」(スイス)



7月 デシ・イルマヤンディさん
「多民族社会の楽しさとインドネシア人の性格」



8月 オジェウオ・クリスさん
「ケニアの部族と言葉」



9月 戸田純子さん・八木絢子さん
「暮らして感じた中国」



10月 八木・チャベス・幸子さん
「豊かな海岸ーコスタリカ」



ケニアの歌を一緒に歌う来場者



11月 柳 枝青さん
「近くて近い国ー韓国」



1月 ガードグ・ローデリヒさん
「イメージ交換ー日本におけるドイツとドイツにおける日本」



2月 メディナ・バナベンテ・レインホルドさん
「麗しいわが祖国ペルー」

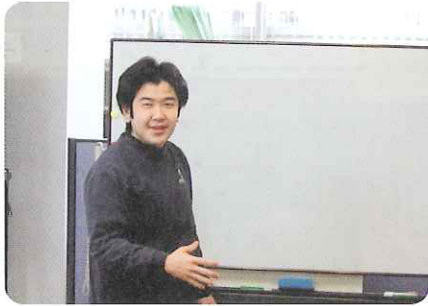


3月 張平さん
「たくましく生きる現代中国の女性達」

外国語会話教室と日本語教室

外国語会話教室は「スペイン語会話教室」(入門・初級)、「中国語会話教室」(入門・初級)、「シニア英会話教室」(水曜教室・金曜教室)の6教室を設けています。また、外国人を対象とした「日本語教室」は受講生のレベルに応じて入門から上級まで7～8グループの編成で実施しています。

スペイン語会話教室



入門
アントニオ・コウジ・ナカツカ 先生

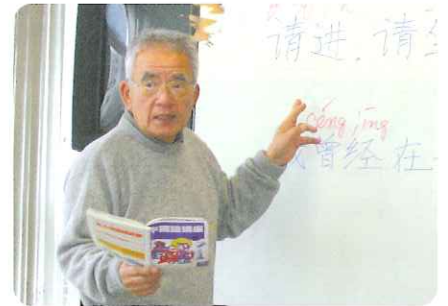


初級 アリアス・スレマ 先生



熱のこもった授業風景

中国語会話教室



入門 河田 治 先生



初級 張 興艷 先生

シニア英会話教室



水曜教室
アンドレア・キャンベル先生



先生と生徒の笑い声がたえません



金曜教室
デボラ・マルク先生

日本語教室

無料で受講できる日本語教室は、来日したばかりの外国人市民に大変人気があります。毎週木曜日、なごやかな雰囲気の中で延べ約100名の受講生が楽しく勉強しています。また、約20名のボランティアの先生方は月に1回の授業研修会を行い、受講生の母国語の特徴などを考えながら、いかに分かりやすく授業をするかなどについて、工夫を重ねています。



「あくら」の発行

「あくら」は英語、中国語、ハングル、スペイン語の4ヶ国語に翻訳し、3ヶ月に一度発行している外国人向け情報紙です。市民のボランティア編集員の方が、編集会議を行い、地域のイベントや伝統的な文化、岡山の著名人などを取り上げ、記事や内容を決め、取材や編集を行っています。今後も、皆様からの様々なご要望やご意見をいただいたアンケート結果をもとに、より充実し、より多くの外国人市民の皆様の情報源となるような「あくら」作りを目指していきます。



4ヶ国語に翻訳された「あくら」



年に9回編集会議が行われます

外国語書籍・雑誌の閲覧・貸出

友好交流サロンでは、日本語のほか、英語、中国語、ハングルなど外国語書籍約2000冊、雑誌20種類、新聞10種類を所蔵し、市民の皆様のご利用をお待ちしています。雑誌や一部の書籍は2週間の貸出も可能となっています。



無料インターネットサービス

無料インターネットサービスを始めて3年が経過しました。外国人市民の方をはじめ、市民の皆様にご好評いただき、利用者数も年々増加しています。



ボランティア活躍記

「夏の思い出」

中村敦子

昨年は、相次ぐ台風の到来・中越地震と印象深い一年でした。私にとって、ひととき印象的な暑い夏の日…それはイスラエル・パレスチナの高校生の一瞬を受け入れた日でした。彼らは『地球平和フォーラム岡山』に参加のため来岡。広島原爆記念式典の後に我が家に二泊同宿したのです。その夜、イスラエル人のジャワドはエジプト製のスカーフや珍しいスイーツを私達家族に。そして、何もお土産を用意していなかったパレスチナ人のアブドは肌身離さず持っていたコーランと二枚の写真をくれたのです。13歳の時に友人二人と写っている写真。“The soldiers shot at us. My friends died. And I was injured.”

(兵士が僕と友達に発砲してきて、友達は死んでしまい、僕もけがをした)あまりの衝撃的な言葉に返す言葉が見つかりませんでした。そして、彼らの鋭い目つき・雰囲気 (appearance) は他の今までの誰とも違っていました。その夜は、珍しく眠れませんでした。次の日8月7日は、東京で最高気温39.7℃を記録した日でした。岡山も極暑で堪えませんでした。その夜は近くの神社の七夕祭りに行き、その後「まわる寿司」レストランへ。その頃から彼らの目が穏やかに、表情も和らいできて嬉しく思いました。後日、彼らは言いました。「僕らは人込みの中に入るのが、たまらなく怖かった」と。私も子どもたちも「自分たちは、いかに平和で安全な国に生まれ幸福かと…」実感した瞬間でした。アブドからのプレゼントは大変重いものでしたが私達の宝物として大切にします。また、これを私の周りの人々に見せて、彼らの話を伝えることが私の役目だと感じています。彼らも、遠く離れた極東に平和で美しい国が存することを知り、日本人の好意に触れて…将来、平和な世界に貢献してくれることを願います。こういう小さな触れ合いが広がって、世界の人々が仲良く暮らせる世の中になればいい。猛暑の夏、ひととき特別な夏でした。貴重な体験をありがとうございました。



アブド (中央) と亡くなった友人達



筆者の娘さん (左端) の友人達と七夕

「ドイツの少年合唱団のガイドをして」

三宅 眷 治

私とドイツ語の出会いは、岡山大学で第二外国語として学習したのが最初です。

卒業後英語の教員として27年間勤めている間に、ラジオドイツ語の勉強を続けていました。定年退職後、専門学校でドイツ語を4年間教えるように頼まれ、全力でドイツ語の勉強をしたことが自信になり、無職となった65歳の時、岡山市国際交流協議会のボランティア通訳として英語だけにしようかと迷ったのですが、ついにドイツ語も登録しました。

平成16年5月のはじめに岡山市国際交流協議会からレーゲンスブルグ少年合唱団40名が岡山で公演する次の日7月27日にガイドをして下さいと頼まれ、数日後桃太郎少年合唱団の父兄の佐藤さんからも頼まれたので、岡山城と後樂園の英語のガイドのしおりを2ヶ月かかって辞書を引きながらドイツ語に訳して佐藤さんに渡したら、彼女が全員に配るようにコピーしてくれました。当日のガイドは気が軽かった。合唱団と先生方に会って紹介の時、「ドイツ語に訳してくれた三宅さんです」と言われたときはうれしかった。私は教授に付いてガイドするように言われて。教授とはドイツ語と英語の両方を使った。合唱団員とは主にドイツ語を使っていたが、英語で言っても全員英語が上手だったので、気が軽くなった。団員達は岡山城で大名の服を着たり大変喜んでいたので。後樂園では眺めの良さに感心したり、父兄が用意した飲み物やソフトクリームに喜んでいました。私は自分の力が役立ったのでとても充実感のある一日でした。



レーゲンスブルグ少年合唱団と後樂園にて
(上から2段目左端が筆者)

ふれあい

トピックス

● 中国・洛陽市から国際交流員来岡

(平成16年4月9日)

中国洛陽市から国際交流員として于 愛紅(ユー アイホン)氏が来岡。任期は1年で、国際交流事業の企画・立案、国際理解・翻訳通訳業務等様々な分野で活躍されました。



萩原岡山市長を表敬訪問する于氏

● 岡山大学・サンノゼ州立大学相互派遣

(平成16年7月21日)

岡山大学とサンノゼ州立大学は、昭和49年に大学間協定を締結し、平成13年からは、学生の相互派遣を行っている。岡山大学から4名サンノゼ州立大学から来岡中の4名が萩原岡山市長を表敬訪問しました。



市長室にて記念撮影

● 国際シンポジウム「松雲大師と徳川時代の朝鮮通信使」～岡山、善隣友好の拠点～の開催

(平成16年6月13日)

朝鮮通信使のさきがけ松雲大師が訪日して、国交回復の礎を固めて400周年の今年、このシンポジウムは近世北東アジアに平和と安定をもたらし、日韓両国民族の文化交流にも貢献した松雲大師の功績を振り返るとともに、さらに新たな研究の視点を確立して、これからの日韓両国市民の交流と共生を目指し開催されました。



シンポジウムのもよう

● 岡山市外国人市民会議の開催

(平成17年2月13日)

岡山市外国人市民会議は、外国人市民の意見や要望を市政に反映させ、市民間の相互理解、多文化共生社会の実現並びに市政の発展に寄与することを目的に設置され、第1回目の会議が開催されました。



岡山市外国人市民会議委員(前列)

● 地球平和フォーラム岡山の開催

(平成16年8月4日～10日)

イスラエル・パレスチナ紛争の悪循環を断ち切り、未来の担い手を育てる取り組みとしてイスラエル、パレスチナ双方の高校生を岡山に招き、岡山の高校生との交流会・討論会、広島平和記念式典への参加、ホームステイなどの行事を通して、世界平和に向けた信頼を築くため開催されました。



広島平和記念式典後の小泉首相からの激励

● 韓国・富川市正明(ジョンミョン)高等学校生徒来岡

(平成17年2月21日)

平成15年9月29日に岡山理科大学付属高等学校と姉妹校締結をした韓国・富川市正明(ジョンミョン)高等学校生徒29名が研修と交流のため来岡し、萩原岡山市長を表敬訪問しました。



市長室にて記念撮影

ホットミニ情報

- ◆中国・洛陽市から国際交流員として岡山市役所国際課に勤務していた魏 莉娟（ウェイ リージュエン）氏が任期満了に伴い平成16年4月7日をもって退職し、帰国。
- ◆駐日コスタリカ共和国大使館特命全権大使リカルド・セケイラ氏が来岡にあたり岡山市長を表敬訪問。
(平成16年5月24日)
- ◆コスタリカ駐在特命全権大使猪又忠徳（いのまた ただのり）氏が来岡にあたり岡山市長を表敬訪問。
(平成16年6月3日)
- ◆学校法人加計学園の招聘によりアメリカ・ブラジルの「学生文化研修団」一行32名が来日し高田収入役を表敬訪問。
(平成16年7月2日)
- ◆おかやま国際貢献NGOサミット ユネスコ国際ワークショップ「持続可能な開発のための教育—マルチメディアの活用」の開催にあたり関係者が岡山市長を表敬訪問。
(平成16年8月24日)
- ◆平成16年大相撲秋巡業「大相撲岡山場所」において、岡山市と関係の深いブルガリアの出身力士である琴欧州（ことおうしゅう）関を岡山市長が激励。
(平成16年10月31日)
- ◆国際友好交流都市である中国洛陽へ、岡山市国際交流協議会と岡山市日中友好協会が協働して、技術研修生、小原幸（おはら みゆき）犬飼真由子（いぬかい まゆこ）の両氏が派遣される。これにともない出発前に岡山市長を表敬訪問。
(平成17年3月14日)
- ◆サンノゼ市日本友情庭園新門の建設にも携わった、サンノゼ市専門家ユージン・サカイ氏が来岡するにあたり岡山市長を表敬訪問。
(平成17年3月23日)

～ 事務局 から ～

募 集 中

- ★ボランティア通訳・翻訳登録者
 - ★ホームステイ・ホームビジット引受登録家庭
 - ★外国人向け生活情報紙「あくら」編集ボランティア
- 随時募集しております。

友好交流サロン情報のメールでのお知らせ

サロン情報をメールでお届けします。ご希望の方は次のところへ
「住所、氏名、メールアドレス」をご連絡ください
E-mail: oifa@po1.oninet.ne.jp FAX: 086-234-5878

友好交流サロン利用のご案内

日本語教室、外国語書籍、雑誌、新聞のほか、インターネットのできるパソコンや国際交流関係のチラシ類など多数あります。また、国際交流の情報交換の場として「インフォメーションボード」を設けています。
お気軽にご利用ください。

「あくら」を岡山市のホームページからご覧いただけます

http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/kokusai/salon/akura/akura_index.htm

岡山市国際交流協議会事務局

〒700-8544 岡山市大供1-1-1 岡山市役所国際課内
TEL: 086-803-1000 (内線3250～3254)
FAX: 086-225-5408
E-mail: kokusaika@city.okayama.okayama.jp
URL: <http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/kokusai/index.htm>

〒700-0903 岡山市幸町10-16 西川アイプラザ4階 友好交流サロン内
TEL: 086-234-5882
FAX: 086-234-5878
E-mail: oifa@po1.oninet.ne.jp